



東ト協

年末繁忙期の 交通事故抑止へ

交差点では一時停止 指差し呼称で安全確認

年末の輸送繁忙期を迎え、交通事故リスクが高まる時期に当たることから、東京都トラック協会(大高一夫会長)では改めて会員事業者等に事故抑止について注意喚起し、日常の点呼時などに運転者に対して、交差点での安全確認の徹底などを指示・指導するよう呼びかけている。今年には既に会員第一当事者の死亡事故数が累計で7件発生し、昨年の年間発生件数と同数に近づいていることから、警戒感を持って事故抑止に努めるよう求めている。

東ト協では今年、会員事業者に対し、事故防止第一当事者関与の死亡事故が3月から7月までの間に5件発生。なかでも3月には小学生の児童が犠牲になった死亡事故が2件発生し、大高会長と江森東副会長(運輸安全委員長)の連名で全会員

物流専門紙記者懇談会

を傾け、行政や政

「ただ求めるだけでは、治に業界の実態を伝え、提案を行うなど、積極的に掘り取りに行くことが大事」。東ト協は12月4日、新宿区のヒルトン東京で物流専門紙記者懇談会を開催し、あいさつに立った大高一夫会長は、業界が抱える問題解決に向けて、こう所信を表明した。

大高会長はまず、結城幸彦副会長の訃報を伝え、「大変、残念でならない」と述べ、逝去を惜しんだ。その上で今年の協会活動を振り返り、「支部や会員の声に耳



大高 会長

と同等になつてしまつた。昨年は前年より1件多い7件となつたが、今年もこのままでは増加傾向となる事態が懸念されることから、輸送業務が繁多になる年末を迎え、これまで以上に安全運

会員一当死亡事故7件 増加が懸念される事態

都内(警視庁管内)における 事業用貨物自動車関与死亡事故 (平成27年12月5日現在)

年	死亡事故件数		
	総件数	会員関与	会員一当
平成26年	33(37)	11(12)	7(7)
27年	33	10	7
増減数	0	-1	0

※東ト協が「トラック事故速報」の方法で会員に通知している件数を手集計したもの。平成26年の()内は、年間件数

会員関与の死亡事故

発生日・場所	車種	状況
1月7日 板橋区内高速道路	大型	自家用軽乗用車が、首都高速を逆走し、正面衝突
2月8日 葛飾区内交差点	普通	右折する際、右方からきた信号無視の自転車(高齢者)と衝突
☆3月10日 多摩市内交差点	大型	左折する際、安全確認不十分で進行したため、横断中の自転車(児童)と衝突
☆3月24日 江東区内交差点	大型	左折する際、安全確認不十分で進行したため、横断中の自転車(児童)と衝突
☆4月18日 中野区内交差点	中型	右折する際、安全確認不十分で進行したため、横断中の歩行者(高齢者)と衝突
☆6月2日 新宿区内交差点	普通	右折する際(右折禁止場所)、直進の自動車と衝突
6月9日 江東区内直線道路	大型	ハンドル操作を誤り転倒した自動車と衝突
☆7月2日 江戸川区内交差点	中型	直進する際、徐行しないまま進行したため、一時停止せず進行してきた自転車と出会い頭に衝突
☆10月5日 荒川区内直線道路	大型	路外施設へ左折する際、安全確認不十分で進行したため、進行中の自転車(高齢者)と衝突
☆11月24日 板橋区内交差点	中型	右折する際、安全確認不十分で進行したため、横断中の歩行者と衝突

紙面あんない

「ETC2.0」特車許可の簡素化
全ト協・7~9月期景況調査結果
東ト協、運輸安全委員会を開催
足立・中央各支部が事故防止大会
関連局・安全性優良事業所表彰

7 5 4 3 2

古紙・パルプ含有率80%再生紙を使用

転を徹底するよう呼びかけているものだ。会員一当死亡事故7件のうち、6件が交差点で発生していることから、特に交差点事故について注意喚起。運転者に対し、指差し呼称により左右の

安全確認を十分に行うよう指示し、一時停止の励行や、歩行者の飛び出しなども想定した、「ブレーキ足乗せ」による防衛運転の徹底を指導するよう求めている。警視庁によると、都内で発生した死亡事故のうち、貨物自動車関与(自用を含む)のものが約4割と多く、関与率が高い状況にある。

さらに東ト協では10月から、会員のトラック2万台に安全意識の喚起・向上を目的としたステッ

東ト協理事会

東ト協は12月9日、港区の第一ホテル東京で平成27年度第5回理事会を開催し、役員改選に関する規程の整備などについて審議した。

冒頭、同日の国土交通省・平成27年「交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」で、東ト協が表彰されたことを報告。議題としては、理事の職務権限規程などの一部改正案や、28年度役員改選時における理事・監事候補者の推薦、および役員候補者審査委員会に関する規程、マイナンバー制度に対応した規程類の整備、50周年記念式典・祝賀会などについて審議・承認した(詳細は次号12月25日号掲載)。

「掘り取る」活動が重要 積極姿勢でアプローチ

また、雇用安定対策事業として、初めて開催した「婚活パーティー」について、「評判が良かった」と述べ、第2弾を行いたいとしている。東京モデルと、全国の「都民を巻き込んだ形で取り組む必要がある」とし、駐車場の確保に向けて「街づくり」計画などにも積極的に参加する方針を示した。また、今年最大の事業として本部と支部の一体

化を挙げ、来年の創立50周年を控え、「対話促進、相互理解のもと、業界一丸となって取り組みを進め、人も組織も充実させていきたい」と述べ、今年からの3年間で「新生東ト協の黎明期」となることを願うとした。

さらに、山積する課題に「覚悟を持って臨む決意」「必要とする行動を起こさない限り、結果は得られない」などと述べ、問題解決に向けて積極的

訃報

東ト協副会長 結城氏が逝去



り行われた。社葬は後日、執り行われる予定。結城氏は、東ト協の定款に定める筆頭副会長で、総務委員会・交付金事業実施計画案検討委員会・50周年記念事業実行委員会各委員長を務めていた。常任理事・深川支部長を経て、平成18年に副会長に就任。事故防止委員長(当時)などを歴任。東ト協が、11月7日に「トラックフェスタ」と

して開催した第20回事故防止大会のオープニングセレモニーに出席し、協会事業に尽力していたが、その後、病状が悪化し、今回の訃報となった。関係団体では東京都トラック交通遺児等助成財団・東京都トラック連送事業協同組合連合会各副会長、および関東トラック協会副会長、全日本トラック協会常任理事などを務めていた。19年に国土交通大臣自動車関係功労者表彰、21年に黄綬褒章受章。



東京商工会議所の「東京の国際競争力強化に向けた要望」では、物流の効率化・高度化施策として、物流拠点の再整備など(11月25日号掲載)に加え、三環状道路の整備など物流ネットワークの形成や、慢性的なトラックドライバー不足対策の推進を提言している。

東京の国際競争力強化へ政策要望(下)

◆大型車に対応した物流ネットワークの形成

首都圏三環状道路が事業中の地域などを中心として、大型車が低規格道路に、大型車が低規格道路

圏央道や外環道の早期整備を

運転者の確保が喫緊の課題

や住宅地を通行せざるを得ない状況にある。また、東京港の埠頭周辺では、貨物量の増大で交通混雑が発生している。

このため、物流効率化の面からも圏央道や外環



特車許可申請を簡素化 自由に経路選択が可能

国土交通省道路局は平成28年1月から、ETC2.0装着車に対して、特殊車両通行許可の申請手続きを簡素化する「特車ゴールド」制度を導入する方針だ。

これに伴う通達整備に

同省が定める「大型車誘導区間」を通行する場合、複数経路を一括して申請し、原則として自由に経路を選択して通行できるようにする。

現行は個別の経路ごとに申請・許可しているため、大量の申請手続きが必要だが、まとめて一括申請することを認め簡素化する。また更新申請についても、道路法違反がない場合、更新手続きを自動化する(申請書を自動作成・更新申請)。

高速自動車国道法施行令の一部改正が11月18日、公布・施行された。

暫定2車線区間の4車線化への整備について、交通量の増大などに機動的に対応するため、整備計画の変更などに関する手続きを見直した

暫定2車線の4車線化 機動的整備へ政令改正

国土交通省自動車局はこのほど、事業用自動車事故調査委員会の報告書などを踏まえ、安全政策課長名で全日本トラック協会に対して、再発防止策の周知徹底を求めた。

調査報告ではこの漏洩事故の原因について、運転者に点呼を確実に実施して、適切な運行指示を行っていないことが、さらに漏洩事故への対処方法についての指導が不十分だったため、被害拡大につながった可能性があるとされた。

このため再発防止策として、積載貨物に関する情報を収集し、点呼時に指示するとともに、漏洩事故への対処方法を定め指示するなど、運行指示の徹底を求めた。

あわせて運転者教育の充実を図り、「国際海上コンテナの陸上における安全輸送マニュアル」を活用し、実践的な教育を行うよう求めている。

◆国土交通省自動車局 ◆ 仏・パリの連続テロ事件で全下協に 対策徹底を通過

国土交通省自動車局は全日本トラック協会に対して、局長通達「フランス・パリで発生した連続テロ事件を踏まえたテロ対策の徹底について」(11月18日付)を发出し、取り組み強化を求めた。

テロ対策に関する国交大臣指示などに基づき通達したものの、トラック関係の事項は次の通り。

▽営業所・車庫内外の巡回

▽営業所などで不審な荷物を発見した時は、触れないようにし、荷物の状態に応じて警察への連絡など適切に対応

▽放射性物質など危険物輸送における安全管理の徹底

▽テロ発生時の通報・連絡・指示体制の整備の徹底



28年1月実施へ。ハブコメ中

ついてパブリックコメントを実施中。募集期間は12月24日まで。

導区間」を通行する場合、複数経路を一括して申請し、原則として自由に経路を選択して通行できるようにする。

再発防止策の徹底求める

国土交通省自動車局はこのほど、事業用自動車事故調査委員会の報告書などを踏まえ、安全政策課長名で全日本トラック協会に対して、再発防止策の周知徹底を求めた。

調査報告ではこの漏洩事故の原因について、運転者に点呼を確実に実施して、適切な運行指示を行っていないことが、さらに漏洩事故への対処方法についての指導が不十分だったため、被害拡大につながった可能性があるとされた。

このため再発防止策として、積載貨物に関する情報を収集し、点呼時に指示するとともに、漏洩事故への対処方法を定め指示するなど、運行指示の徹底を求めた。

あわせて運転者教育の充実を図り、「国際海上コンテナの陸上における安全輸送マニュアル」を活用し、実践的な教育を行うよう求めている。

◆国土交通省自動車局 ◆ 仏・パリの連続テロ事件で全下協に 対策徹底を通過

国土交通省自動車局は全日本トラック協会に対して、局長通達「フランス・パリで発生した連続テロ事件を踏まえたテロ対策の徹底について」(11月18日付)を发出し、取り組み強化を求めた。

テロ対策に関する国交大臣指示などに基づき通達したものの、トラック関係の事項は次の通り。

▽営業所・車庫内外の巡回

▽営業所などで不審な荷物を発見した時は、触れないようにし、荷物の状態に応じて警察への連絡など適切に対応

▽放射性物質など危険物輸送における安全管理の徹底

▽テロ発生時の通報・連絡・指示体制の整備の徹底

現在、物流の中核を担うトラック運送業界では人材の確保・育成が喫緊の課題で、中長期的にドライバー不足が懸念されている。

このため、国土交通省と厚生労働省がまとめた、トラックドライバー

の確保・育成

また、業界では女性トラックドライバーを「トラガール」と名付けて、積極的な情報発信に努めているが、女性の活躍促進に向けて有意義な取り組みであり、鋭意推進すべきである。なお、道の駅やサービスエリアに、女性用の休憩・リフレッシュ施設を一層整備することも求められる。

高速自動車の整備計画の変更は、国土開発幹線自動車道建設会議の審議事項となっていたが、暫定2車線区間の4車線化などについて国土交通省令で規定し、審議事項から除くことにした。

高速自動車の整備計画の変更は、国土開発幹線自動車道建設会議の審議事項となっていたが、暫定2車線区間の4車線化などについて国土交通省令で規定し、審議事項から除くことにした。

高速自動車の整備計画の変更は、国土開発幹線自動車道建設会議の審議事項となっていたが、暫定2車線区間の4車線化などについて国土交通省令で規定し、審議事項から除くことにした。

高速自動車の整備計画の変更は、国土開発幹線自動車道建設会議の審議事項となっていたが、暫定2車線区間の4車線化などについて国土交通省令で規定し、審議事項から除くことにした。

エネルギー・フロンティア TOKYO GAS

NGVを選ぶことが地球の未来を変える。

●天然ガスを燃料とするNGV(天然ガス自動車)は、燃料多様化によりエネルギーセキュリティに貢献

●天然ガスの可採年数は250年程度(出典:IEA World Energy Outlook 2011)

●天然ガスは燃やしてもSOxや黒煙を発生しないクリーンなエネルギー

東京ガス株式会社 NGV事業部 〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20 TEL.03-5400-6772 http://eee.tokyo-gas.co.jp/ngv

おかげさまで 40000台突破

日本の天然ガス自動車普及台数は、4万台を突破いたしました。(11/20現在)

運輸 点描

高速道路料金の割引制度に関連して、「ETC 2.0」への関心が高まっている。国土交通省は9月に公表した「首都圏の新たな高速道路料金に関する具体方針(案)」に、その普及促進策を盛り込んだ。さらに、トラック運送事業者などを対象に、「ETC 2.0」を活用した運行管理支援サービスを導入する計画だ。こうした施策措置により、狙い通りに普及が加速するのかが、注目されるところだ。

「ETC 2.0」の普及促進策

国土交通省の資料によれば、「ETC 2.0」は次世代のETCに位置付けられ、通行料金の自動収受だけでなく、各種の運転支援サービスが可能という。

道路に設置した通信アンテナ「ITSスポット」と対応車載器(ETC機能)を拡張したDSRC車載器は再セットアップが必要。

様々なメリットがあるようだが、このサービスを利用するには対応車載器とカーナビゲーションが必要で、導入コストが高くなることもあり、「ITSスポット」サービスはあまり普及していない。

そこで、国土交通省では普及促進策の一環として、新たにトラック運送事業者などを対象に、経路情報を活用した運行管理支援サービスの導入を計画している。

高速料金割引でインセンティブ 運行管理支援サービスの展開も

物流効率化を推進するための「ITを活用した『賢い物流管理』」として、導入を計画しているもので、現在、そのための社会実験への参加事業者を公募中(関連記事7面)。

さらに国土交通省では、首都圏の新たな高速道路料金に関する具体方針(案)で、「ETC 2.0」の早期普及のための優遇措置を盛り込んだ。

平成28年4月から、料金体系を整理・統一するとともに、走行経路によらず、同一の起終点であれば同一料金とするが、外側の環状道路である圏央道の利用促進策として、「ETC 2.0」搭載車を対象に、追加の料金割引を導入する方針だ。対応する。

国土交通省は9月に公表した「首都圏の新たな高速道路料金に関する具体方針(案)」に、その普及促進策を盛り込んだ。さらに、トラック運送事業者などを対象に、「ETC 2.0」を活用した運行管理支援サービスを導入する計画だ。こうした施策措置により、狙い通りに普及が加速するのかが、注目されるところだ。

国土交通省は9月に公表した「首都圏の新たな高速道路料金に関する具体方針(案)」に、その普及促進策を盛り込んだ。さらに、トラック運送事業者などを対象に、「ETC 2.0」を活用した運行管理支援サービスを導入する計画だ。こうした施策措置により、狙い通りに普及が加速するのかが、注目されるところだ。

全ト協 景況感調査 7～9月期



全日本トラック協会(以下、同様)の第91回「トラック運送業界の景況感調査結果(平成27年7～9月期、速報)」によると、景況感の指標は△(マイナス)19.4で前回調査比15.2ポイント改善。割合も高い状況にある。

業種別にみると、一般貨物では輸送数量の指標が△13.6で9.5ポイント改善し、営業収入は△11.0で10.9ポイント上昇。営業利益は16.0ポイント上昇の△1.0と、プラス水準近くまで戻した。

WebKIT 11月運賃指数 求荷求車情報ネットワークWebKITの成約運賃指数によると、11月の指数は118で前年同月比1ポイント上昇の118

12月から義務化



東労局 年末・年始の労災防止へ Safe Work 推進強調期間

東京労働局は、平成27年度「年末・年始Safe Work推進強調期間」(12月1日～28年1月15日)を実施し、関係団体と連携して労働災害防止への取り組みを推進している。

今年の管内における労災発生状況は死亡災害、休業4日以上死傷災害ともに前年を下回る状況にあるが、第12次労災防止計画の目標達成のためには、さらなる取り組み強化が求められている。このため、業務繁多になる年末年始を迎え、「強調期間」を設定して、労災防止に向けた各種取り組みを推進している。

各事業者の重点実施事項としては、「Safe Work」をキャッチフレーズとする安全衛生活動を一層推進し、安全気運の向上を図ることなどを呼びかけている。

配以外の特積貨物で、輸送数量が△22.6で7.4ポイント改善し、営業収入は△8.1で3.6ポイント上昇。営業利益は16.1とプラス水準に転じた。

厚労省 「実施プログラム」公開 ストレスチェック制度 厚生労働省は、12月から「ストレスチェック制度」が施行されたことによる労働者のストレス状況について、定期的に医師・保健師などによる検査を行い、検査の結果、一定の要件に該当する労働者から申し出があった場合、これを公開している。

厚労省 「実施プログラム」公開

厚生労働省は、12月から「ストレスチェック制度」が施行されたことによる労働者のストレス状況について、定期的に医師・保健師などによる検査を行い、検査の結果、一定の要件に該当する労働者から申し出があった場合、これを公開している。

運行管理者 資格者証申請

住民票の写し提出は個人番号・未記載で 国土交通省自動車局は、「貨物自動車運送事業輸送安全規則の解釈及び運用について」の課長通達を一部改正した。

運行管理者資格者証の交付、訂正または再交付の申請に際し、住民票の写しは、マイナンバー法の規定に基づき、個人番号が記載されていないもの、または判読・復元できない状態にしたものを提出させることにした。

カメラは見ていた。その瞬間を!

YAZAKI

ドライブレコーダー

を付けてみませんか?

ご希望がございましたら、ご連絡下さい。

矢崎エナジーシステム 特約販売店

世田谷サービス株式会社

本社 03-5727-1600
板橋(営) 03-5916-3557
ホームページ <http://www.setagaya-yss.co.jp>
E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp



東ト協 第4回 理事会「不成立」
宇都宮常任理事が招集請求

東ト協は、宇都宮常任理事(前渋谷支部長)で平成27年度第4回理事会の開催を予定していたが、理事の本人出席者数が過半数に達しなかったため、理事会規程により不成立となった。

同日の理事会は、宇都宮常任理事が理事会規程第2条第2項・第3項に基づき、26年6月開催の役員選任理事会における法令問題や、28年度の役員選任

招集請求の規程をめぐる問題などを招集理由として、開催請求していたもの。しかし、同日は理事の本人出席者数が定数119人のうち58人とどまり、過半数に達しなかった。

これに伴い、開催予定時間を経過後、綿引正明専務理事が本人出席者数について報告し、これを受けて、規程により理事会議長を務めることになっている大高一夫会長が、第4回理事会の不成立を宣言し、散会した。

年始への安全確保

年末安全総点検

東ト協 運輸安全委員会



抑え、昨年(年間)と同じ7件にとどめたい」と取り組み強化を呼びかけた。

議題ではまず、東運支局の増永佳典陸運技術専門員が、27年度「年末年始の輸送等に関する安全総点検」に関する説明し、運転者の健康管理の徹底や過労運転防止のための取り組みを求めた。

また、警視庁交通部の杉木克則交通総務課交通安全組織係長が、東ト協と協働した交通安全キャンペーンへの協力に感謝の意を示した上で、都内における事故発生状況と貨物自動車の事故防止対策について説明。

死亡事故のうち貨物車関与が約4割を占め、特に交差点での安全不確認による事故が多いと指摘。現在推進中の貨物車事故防止対策を年明け後にも継続実施する方針を示し、「ライトオン16キャンペーン」や「交差点アイコンタクト運動」への協力を呼びかけた。

12月「何とか事故ゼロ」に

また、28年春の全国交通安全運動(4月6日〜15日)における街頭指導活動の統一実施日は、4月12日に決めた。

このほか、トラックフエスタの実施結果と、本部事故防止大会の在り方検討小委員会の設置期間終了(廃止)、秋の全国交通安全運動における街頭指導活動の実施結果統一実施日(9月29日)に22支部が計47か所(活動など)について報告した。



小学校で交通安全教室 「アイコンタクト運動」実演

東ト協 新宿支部

東ト協新宿支部(鈴木一末支部長)は12月4日、新宿区立牛込仲之小学校(佐藤弘明校長)で、1・2年生の児童を対象に授業の一環として、トラックを用いた交通安全教室を実施した。

同日は、新宿区の小保旬交通対策課長のあいさつに続き、牛込警察署交通課の警察官が交通信号に関する交通安全講話。この後、トラック5台を用いて交通安全教室を行い、警視庁が展開している「交差点アイコンタクト運動」について、実際にドライバーと歩行者とのやりとりを再現しながら説明。また、児童一人ひとりがトラックに乗車して、運転席からは見えない死角を実体験し、協や新宿支部のノベルティをプレゼントした。

千葉ト協・女性会員の意見交換会も



東ト協女性部(原玲子本部長)は11月15・16日、平成27年度女性経営者研修学会を実施した。今回は千葉県科学博物館などを見学したほか、千葉県トラック協会の女性会員との意見交換会を行った。

11月15日は「航空科学博物館」のほか、ヒゲタ醤油銚子工場を訪れ、「ヒゲタ資料館」を見学。翌16日には千葉ト協の女性会員との意見交換を行った後、プリダストンの「バンダグ・リトルレッド千葉ファクトリー」を見学した。

千葉ト協との意見交換会では冒頭、同協会の西郷隆好会長があいさつし、業界においても女性の活躍促進を図る必要がある旨を強調した。一方、東ト協の原副会長は、女性経営者の組織づくりを進め、「トラック業界のイメージを私たちの力で変えていきたい」と呼びかけた。この後、意見・情報交換を行い、交流を深めた。

申込期間 12月22日まで

東ト協は、平成27年度第2回運行管理者試験事前講習会を開催する。

前講習会を開催する。

東ト協は、平成27年度第2回運行管理者試験事前講習会を開催する。

講習会開催日時 10月22日(受付/月金) 18時〜21時(午後5時) 18時、FAX 03・3359・4983

講習会開催場所 東ト協本部(〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1)

講習会参加費 2人まで

講習会申し込み・問い合わせ先 東ト協運行管理部 (03・3359・3359)

協会 日誌

〔11月16〜30日〕

- 16日 事務局部長会▽女性部千葉ト協女性会員との意見交換会▽東ト協フエスタ実行委員会▽グリーン・エコプロジェクトセミナー(19日)▽本部事故防止大会の在り方検討小委員会
- 17日 取扱事業・積合専門部会役員会▽東京運輸支局・街頭検査に協力▽重量品専門部会経営者研修会
- 18日 総務小委員会▽海上コンテナ専門部会定例役員会▽物流経営士課程▽関ト協専務理事連絡会▽セメント専門部会セメント輸送に関するワーキンググループ
- 19日 青年部海外研修(〜24日)
- 20日 鉄鋼専門部会安全環境委員会▽支部事務局事務局長会議
- 21日 物流経営士課程(〜22日)▽本部集団健診(〜22日)
- 24日 事務局部長会▽関ト協海上コンテナ部会正副部会長・監事合同会議
- 25日 総務委員会▽物流経営士課程▽食糧専門部会委・粉委員会
- 26日 事務事業調査▽食料・酒類飲料専門部会見学・研修会
- 27日 指導監査
- 30日 紙・パルプ専門部会・日本製紙連合会物流委員会・東京洋紙代理店会物流委員会合同研修会

日程ボード

〔12月16〜31日〕

- 16日(水) 13時 東ト協フエスタ実行委員会(東ト協本部)
- 17日(木) 13時30分 支部長会(第一ホテル東京)▽16時 鉄鋼専門部会安全環境委員会(東ト協本部)
- 18日(金) 17時 ロジ研本部連絡会(東ト協本部)
- 21日(月) 14時 環境委員会正副委員長会議(東ト協本部)
- 22日(火) 15時30分 支部事務局事務局長会議(東ト協本部)
- 28日(月) 仕事納め

新会員

◆忠和トラスト運輸株式会社城南島営業所 田区城南島7の2の2、トレディアア城南島倉庫内2階 03・5755・9020 一般貨物(普通車3台、小型車3台)

お悔やみ 申し上げます

矢吹 三郎氏(安全サビス社長・多摩支部) 11月30日、脳梗塞のため死去。88歳。告別式は12月5日、福島県石川郡古殿町のかくた斎苑で。喪主は甥、勝美氏。

東ト協 足立支部 事故防止大会

『足立式ドラコン』 クラウド活用し全国展開

東京都トラック協会足立支部(藤倉泰徳支部長)は11月21日、足立区千住の東京芸術センターで、平成27年度・第2回事務防止大会を開催した。大会では第2回ドライバーコンテスト表彰式を行



「ドラコンから見えること」と題して講演。足立式ドラコンの評価方法を活用した、運輸安全マネジメントの再構築を提案した。また、大会では恒例の永年勤続優良従業員と、長期無事故優良運転者の各表彰式を開催。さらに、第2回「足立式ドラコン」表彰式を開催し、大型・中型・小型の各部門と、今年度から新設のトレーラ部門の各上位入賞(得

無事故無違反へ大会宣言

「ドラコンから見えること」と題して講演。足立式ドラコンの評価方法を活用した、運輸安全マネジメントの再構築を提案した。また、大会では恒例の永年勤続優良従業員と、長期無事故優良運転者の各表彰式を開催。さらに、第2回「足立式ドラコン」表彰式を開催し、大型・中型・小型の各部門と、今年度から新設のトレーラ部門の各上位入賞(得

中央支部 事故防止事業者大会 安全運行の徹底を宣言



東ト協中央支部(中川卓三支部長)は11月26日、中央区月島社会教育会館で、平成27年度事故防止事業者大会を開催し、安全運行の徹底に向けて7項目の取り組みを推進

し、安全最優先の企業風土の構築・定着、官民一体の取り組みによる業界の社会的地位向上を図ることを宣言した。冒頭、中川支部長があついで、事故はあつてはならないものだが、避けて通ることはできない。できるだけ無事故で安全な運転を心がけてほしいと呼びかけた。また、適正化事業実施機関による巡回指導結果について説明し、「今後法令は厳しくなる。適正な対応をお願いする」と述べた。

7項目の取り組み推進

と述べた。来賓として江森東副会長(本部運輸安全委員長)があいさつ。警視庁と協働して展開している「いっしょに安全」キャンペーンなどについて説明した上で、「大会を通じて、年末に向けて会員一当死亡事故を1件も起こさないよう事故防止の徹底を

27年度 第4回 引越管理者講習

28年2月3日開催 東ト協引越専門部会(五十嵐良夫部会長)は平成28年2月3日、27年度第4回引越管理者講習を開催する。今回は今年度最後の管理者講習。時間は午後5時45分から午後7時30分まで、会場は東ト協総合会館7階大会議室。定員は100人。受講申し込みは28年1月20日まで(定員になり次第、受付終了)。

この後、澤幡淳副支部長(事故防止担当)が、安全運行の徹底に向けて、過労運転の防止や運転者の健康起因事故の防止、歩行者・自転車への安全配慮、飲酒運転・危険ドラッグ使用の根絶など、7項目の取り組みを推進することを宣言した。

東ト協 紙・パルプ 専門部会

東ト協紙・パルプ専門部会(菅俣英彦部会長)は11月30日、東ト協総合会館で日本製紙連合会・東京洋紙代理店の各物流委員会と合同研修会を開催した。運転者不足の深刻化など労働問題が大きな課題になる中、双方が認識を共有化し、改善に取り組みの必要性などが提起された。

労働力確保対策が課題 認識を共有化し改善へ

研修会ではまず、主催者を代表して菅俣部会長があいさつし、業界の現状について「紙の配送数量が減少する中で、需要家向け配送ロットは小口荷役作業の実態調査結果について説明し、「トラック運転者が配送先でも荷役作業を実施しているケースが多い。長年の慣習で、すぐにやめるわけにはいかないが、運転者不足の現実を踏まえて、縮小が避けられない」と述べた。



荷主業界と合同研修会

研修会ではまず、主催者を代表して菅俣部会長があいさつし、業界の現状について「紙の配送数量が減少する中で、需要家向け配送ロットは小口荷役作業の実態調査結果について説明し、「トラック運転者が配送先でも荷役作業を実施しているケースが多い。長年の慣習で、すぐにやめるわけにはいかないが、運転者不足の現実を踏まえて、縮小が避けられない」と述べた。



東ト協と関東交通共済協同組合(三浦文雄理事長)は11月30日、千代田区グランドアーク半蔵門で、平成27年度交通安全表彰式(緑十字銅章)伝達式を開催した。今年度の受章者は6人で、東ト協の大高一夫会長が、各氏に表彰状と緑十字銅章をそれぞれ授与した。

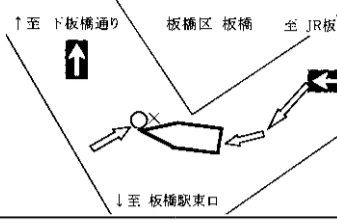
交通栄誉章 「緑十字銅章」伝達式

東ト協推薦の受章者は松本有司副会長(金方堂運輸)をはじめ、中川卓三(丸中・中央支

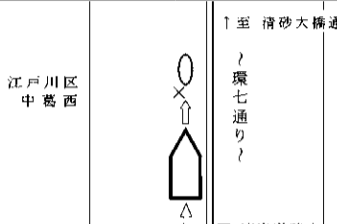
トラック事故速報 死亡事故

問い合わせ先：東京都トラック協会 運行管理部 ☎03-3359-3618

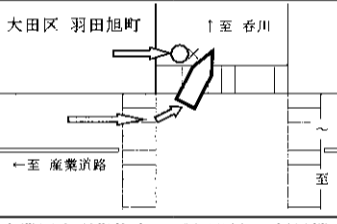
◎信号機のない交差点の右左折時には、歩行者や自転車の横断等を予測し、速度を十分に落として通行すること!!

日時	11月24日(火) 4時45分頃発生(曇天)
場所	板橋区内(区道)
当事者	事業用中型貨物車(40歳代男性)×歩行者(男性56歳死亡) ※衝突は過失の軽重を示すものではありません
状況	
概要	事業用中型貨物車は、JR板橋駅西口方向から信号機のないT字路交差点を下板橋通り方向に右折する際に安全確認を怠ったため、左方から右方に横断中の歩行者に衝突したものの。

◎漫然(ぼんやり)運転は危険!!
◎車間距離を取り、スピードの出し過ぎに注意する!!

日時	11月24日(火) 6時43分頃発生(曇天)
場所	江戸川区内(環七通り<都道>)
当事者	事業用普通貨物車(20歳代男性)×自動二輪車(男性64歳死亡) ※衝突は過失の軽重を示すものではありません
状況	
概要	事業用普通貨物車は、環七通りの第3通行帯を湾岸道路方向から清砂大橋通り方向に進行する際に前方注視を怠ったため、同方向に進行していた自動二輪車に追突したものの。

◎交差点右左折時は、横断歩道手前で必ず一時停止し、指差し呼称を徹底すること!!

日時	11月29日(日) 0時04分頃発生(晴天)
場所	大田区内(環八通り<都道>)
当事者	事業用大型貨物車(50歳代男性)×歩行者(男性24歳死亡) ※衝突は過失の軽重を示すものではありません
状況	
概要	事業用大型貨物車は、環八通りの信号機のある交差点を、青色信号に従い産業道路方向から呑川方向へ左折する際、安全確認が不十分であったため、青色信号に従い左方から右方へ横断歩道を横断中の歩行者に未発見で衝突、転倒させ轢過したものの。



東京運輸支局

陸運従事者・運行管理者・整備管理者表彰

東京運輸支局は11月19日、品川区東大井の支局会議室で、平成27年度陸運関係従事者および自動車運送事業運行管理者・整備管理者の表彰式を開催した。今年度は、陸運関係従事者37人、整備管理者1人の合計42人を表彰。東京支局は、陸運関係従事者2人、運行管理者3人、整備管理者1人の合計6人が受賞した。同日は表彰状の授与に続き、高橋哲哉支局長が式辞に立ち、受賞者の功績をたたえた上で、「陸運関係事業各分野における基本的使命は、安全・

東ト協関係6氏に荣誉

全日本トラック協会は、第55回「正しい運転・明るい輸送運動」(11月16日〜平成28年1月10日)を実施している。年末年始の輸送繁忙期に交通・労働災害事故の防止などを徹底し、安全・安心な輸送サービスを提供するために、毎年実施している。今回の運動では、重点項目として①荷役作業時の安全確保の徹底、②健康診断の受診の徹底、③確実な点呼の実施、④飲酒運転および危険ドラッグの根絶、⑤過労運転防止の徹底。⑥交差点における事故防止の徹底に取り組んでいる。

「つっしょよに安全!」キャンペーン実施中

安心の確保であり、国民が豊かで活力ある生活を送るための最も重要な責務。引き続き、ご尽力をお願いする」と述べた。来賓として東ト協の浅井隆副会長が祝辞を述べ、「皆さまの弛まぬ努力があつて、運送業界における最大の使命である安全・安心の確保が図られている。今後もより一層のご活躍をお願いいたします」と呼びかけた。東ト協関係の受賞者は

「青だけど車は私を見てるかな!」
平成27年10月末現在の都内全域の交通事故発生件数(本年累計)は28,079件で、前年同期比2,506件減少し、死者数は131人で同1人の増加となった。営業用貨物車の関与事故(「違反別」表の下段「注」参照)発生件数(本年累計)は、2,493件で前年同期比245件減少し、死者数は21人で同3人の減少となった。事故類型別では、右左折時の車両相互事故が318件で前年同期比8件の減少で、死者数は10人だった。違反別では、歩行者妨害による関与事故が81件で、前年同期比10件増と著しく増加している。

違反別 営業用トラック関与の交通事故 (平成27年10月末) (本年累計数)

発生件数	安全不確認	前方不注意	交差点安全進行	歩行者妨害	一時停止不停止	ハンドルブレーキ	信号無視	徐行違反	右左折	その他	計
大型	121	85	25	14	0	18	4	0	4	70	341
関与事故件数	124	87	27	14	0	18	4	0	4	110	388
(前年比)	-2	-29	+1	+1	+0	+2	-2	+0	+3	-21	-47
中型	181	196	74	35	3	36	19	0	2	158	704
関与事故件数	187	199	86	35	3	36	19	3	2	300	870
(前年比)	-34	-39	-12	+3	+2	-12	-1	+2	+0	-15	-106
普通・軽	292	187	145	32	9	43	16	3	2	164	893
関与事故件数	303	191	171	32	9	43	17	4	2	463	1,235
(前年比)	-81	-12	-16	+6	+2	-6	-4	+4	+2	+13	-92
合計	594	468	244	81	12	97	39	3	8	392	1,938
関与事故件数	614	477	284	81	12	97	40	7	8	873	2,493
(前年比)	-117	-80	-27	+10	+4	-16	-7	+6	+5	-23	-245
死者数	6	1	0	3	0	0	0	0	0	1	11
大型貨物車(1当)	2	1	1	2	0	0	1	0	0	1	8
普通・軽貨物車(1当)	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2

注：営業用貨物車の関与事故件数とは、第1または第2当事者のどちらか一方が営業用貨物車であった事故の件数をいう。ただし、第1および第2当事者がともに営業用貨物車であった事故は件数を1件とする。
※表中の(前年比)は、関与事故件数のもの。

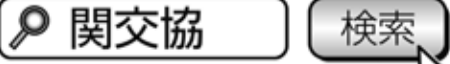
トラック事業者のための 自動車共済

安全と安心をお届けして45年。
関交協は、みなさまと共に
歩みつづけます。

みんなで助ける みんなが助かる



☎160-0023
東京都新宿区西新宿7丁目21番20号(関交協ビル)
Tel.03-5337-1750 Fax.03-5337-1765



51事業所に初の局長表彰

関東運輸局



安全性優良事業所表彰

関東運輸局は11月26日、横浜第二合同庁舎で、平成27年度「安全性優良事業所表彰式」を開催した。表彰制度の創設後、初の局長表彰で、管内1都5県の51事業所が表彰を受け、東京都トラック協会の会員事業者では19事業所が受賞した。

以上の運転者教育に取り組み、デジタル式運行記録計やドライブレコーダーを全車両に装着していることなど。

濱勝後局長は式辞で、高い水準の安全性確保に取組んでいる受賞各事業所をたたえ、業界全体の事故防止のため、適正に事業運営をしている業界のトップランナーとして、その豊富な経験と知識を生かしてほしい」と述べ、受賞者代表に表彰状を授与した。

神奈川県警の小田部長はあいさつで「安全な輸送、交通事故防止に力添えをお願いする」と求めた。大高会長は「業界の使命である安全・安心な輸送サービスの確保は、今後一層重要性を増す」とし、「Gマーク取得拡大の推進役となり、モデル事業所としてご尽力いただきたい」と述べた。

受賞事業所は次の通り。田中産業本社営業所▽ジェイアール東日本物流 狛江物流センター▽用賀

運送本社営業所▽ジェイアール東日本物流塩浜物流センター▽天野運送本社営業所▽古屋運送本社営業所▽中央運輸興業本社営業所▽京浜運送本社営業所▽丸芳田中屋運送本社営業所▽トシヨ

西東京営業所▽久留米運送板橋店▽大東運送隅田川支店▽上松運送本社営業所▽三星・運送本社営業所▽浅井本社営業所▽ジェイアール東日本物流 新木場物流センター▽トシヨ

久留米運送江戸川店▽中央ロジスティクス深川営業所

東ト協会員 19事業所が受賞

12月17日まで(同日午後5時必着) 同省ではIT新技術を

活用した生産性の高い「賢い運行管理」の実現を目指しており、その一環として導入を計画しているもの。

ETC2.0車載器で把握したプローブ情報(走行位置やブレーキ情報など)を運行管理を行う事業者へ提供し、運行管理の効率化や運転者の安全確保の取り組みなど

期待されている。同サービスの導入に向けて、平成29年3月にかけて社会実験を行う予定で、これに伴い第1期の参加事業者を募集しているもの。20社程度を予定。第1期の応募状況などを踏まえ、第2期の参加事業者を募集する方針。

参加要件は、自らが行う貨物などの運送事業に

用いる車両の特定プローブ情報を活用し、運行管理の効率化や安全確保、業務の効率化などを試行実施する事業者、または事業者グループ。

基本的には、運行管理を行う事業者、および特定プローブ情報を活用してサービスを提供する事業者が、グループで参加することが条件。

参加事業者に対しては、車載器購入費用の一部(上限:1台当たり3万円)を支援する。

応募要領の詳細は、国土技術政策総合研究所のホームページを参照。

なお、応募先は「ETC2.0車両運行管理支援サービス」に関する社会実験事務局(道路新産業開発機構ITS・新道路創生本部)03・5843・2931、FAX03・5843・2900。

ETC2.0

運行管理支援サービス

社会実験参加者を公募

募集期間 12月17日まで

国土省

年末年始の安全総点検

安全管理に關しては、特に過労運転などの防弊対策、運転者などに対する指導監督体制に留意して点検を実施する。

安全管理に關する必要性についての認識/定期健康診断で、要再検査や要精密検査、要治療の所見がある場合、医師の診断受診と所見に応じた検査受診、および検査結果の把握と、医師からの乗務に関する意見聴取など。

「運行管理業務と安全」マニュアルを改訂

このマニュアルは、運行管理者が多岐にわたる関係法令の遵守事項などについて理解し、適切に業務を行うとともに、一層の安全対策に取り組むことを目的としたもの。最近の関係法令の改正などに基づき、改訂した。

12月10日～28年1月10日

国土交通省は、平成27年度「年末年始の輸送等に関する安全総点検」を実施する。実施期間は12月10日から28年1月10日まで。物流・人流が集中する年末年始に毎年実施して

過労運転防止など安全対策の徹底を

安全管理に關する必要性についての認識/定期健康診断で、要再検査や要精密検査、要治療の所見がある場合、医師の診断受診と所見に応じた検査受診、および検査結果の把握と、医師からの乗務に関する意見聴取など。

運行管理者に過労運転をさせないための安全対策の実施状況(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準)告示の内容、特に長距離運転・夜間運転の乗務時間の遵守/適切な運行指示書の作成と適切な指示など。

運行管理者に過労運転をさせないための安全対策の実施状況(夕暮れ時の早めの前照灯点灯および夜間ハイビームの活用を指導/右左折時における周囲の交通状況の十分な確認を指導、特にトラックの場合、助手席の荷物などで死角を大きくすることがないように指導するなど)

降積雪期における輸送の安全確保徹底を

国土省

国土交通省自動車局は、局長通達「降積雪期における輸送の安全確保の徹底について」(11月26日付)を全日本トラック協会に発出し、会員事業者等に周知徹底し、事故防止に努めるよう求めている。

気象情報や道路における降雪状況などを把握し、必要な対策を講じ、輸送の安全確保に万全を期すよう通達した。具体的には次の通り。

降積雪期における輸送の安全確保徹底を

①早期にスタッドレスタイヤやタイヤチェーンを装着するよう徹底を図

安全管理の徹底を

②点呼時などに運行経路の道路情報や気象情報などに基き、乗務員に適切な指示を行うこと

安全管理の徹底を

③積雪・凍結時における全日本トラック協会に発

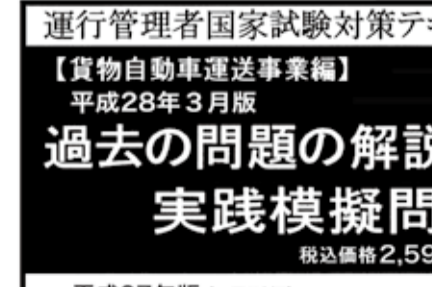
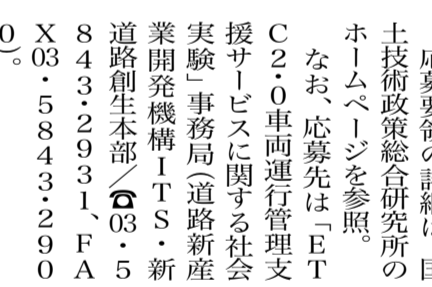
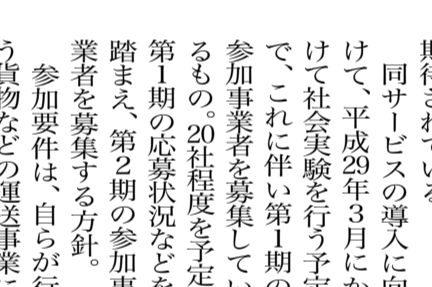
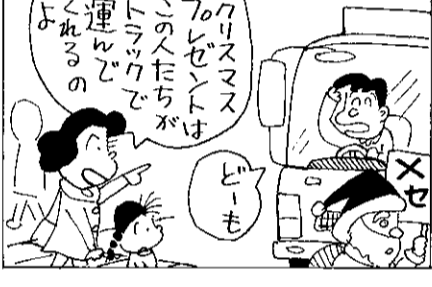
安全管理の徹底を

④気象状況の急変で安

安全管理の徹底を

⑤乗務員に対し、スリ

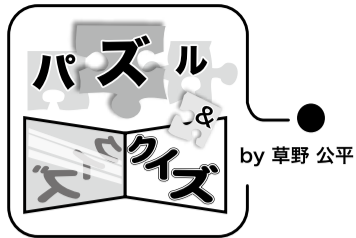
アクセル君



運行管理者国家試験対策テキスト
【貨物自動車運送事業編】
平成28年3月版
過去の問題の解説と
実践模擬問題
税込価格2,592円

平成27年版(7月刊行)
自動車六法
定価 5,940円(税込)

株輸送文研社<柏林書房>
TEL.03-3861-0291(代) FAX.03-3861-0295



クロスワードパズル

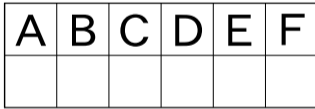
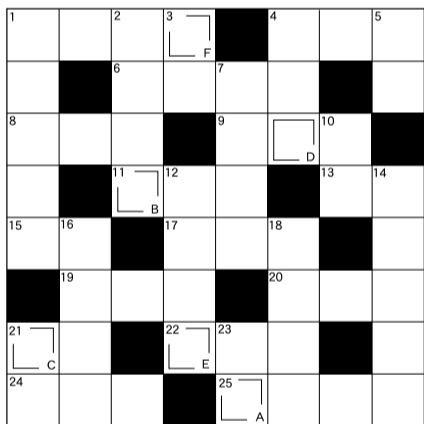
クロスワードを解いて、A~Fを順に読んでください。それが答えです。

タテのキー

- ①一定料金で好みの料理を自由に好きなだけ取って食べられる形式の食事
- ②外国との交渉・交際のこと
- ③⇄ 陽
- ④○○○に腕押し。ヌカに釘と同じ意味です
- ⑤○○でも動かぬ頑固者
- ⑦森に棲む夜行性の鳥です
- ⑩料理の彩りや薬味に使われる葉
- ⑫昔の小学校で習った歌のこと
- ⑭オードブル・スープからデザートまで正式な西洋料理
- ⑯ピンチの後には○○○○あり
- ⑰防寒やオシャレのために襟に巻くもの
- ⑱○○○に小判
- ⑳鍼灸や指圧の効き目がある所

ヨコのキー

- ①中国人ツアー客が大量に日本製品を買うこと。今年の流行語大賞に選ばれた言葉
- ④野外で茶をたてること
- ⑥⇄ デフレ
- ⑧貴重品を火災や盗難から守ってくれる頑丈な箱
- ⑨○○○危うきに近寄らず
- ⑪敵に○○○を見せるとは、敵から逃げることだ
- ⑬自分のお爺さんのこと
- ⑮言ってもしかなかったことを、くどくどとほすこと
- ⑰和室でなく洋風の部屋のこと
- ⑲与党のライバル
- ⑳昔の柱時計についてた物
- ㉑○○○には○○○を入れてトラックの安全点検
- ㉒時代劇には必須のかぶりもの
- ㉔商品の原価のこと。○○○割れをおこしたら赤字だ
- ㉕サラリーマンの楽しみ、賞与のこと



応募方法

官製はがきに、①答え②あなたの住所・郵便番号③会社名④氏名⑤年齢⑥本紙へのご意見・ご要望を明記し、お送りください。正解者の中から抽選で3名様に図書カード(1,000円分)をプレゼント。

●宛先=〒160-0004 新宿区四谷3-1-8 (一社)東京都トラック協会 広報部「トラック時報」係

●締め切り=12月末日(正解は1月10日号に掲載)

☆インターネットでの応募も可能です。http://www.totokyo.or.jp/

☆インターネット応募の場合、解答フォームをご利用ください。東ト協HPトップ「会員の方へ」をクリックし、次ページ右の「トラック時報パズル&クイズに応募」へ。

★11月10日号「熟語のスケルトン」の正解は「首都高速」でした。



いまこそ歌え! クリスマス キャロル

次の幽霊は、現在のクリスマス・イブを案内する。

*第2の幽霊ー現在

その恋人を引き留めることもしない過去の自分自身に、スクルージは「何をしているんだ! 追え!」と怒鳴りつけるのだ。

銀行に勤め、冷酷な融資係として敏腕を發揮した青年時代。恋人は「何よりも大切なことは、愛する人と過ごすこと。お金しか愛するものがないなんて」と去っていく。

第1の幽霊は、スクルージを彼自身の過去へ連れていく。

*幽霊出現ー過去

さて、クリスマス・イブに一人で帰宅したスクルージを、3人の幽霊が次々訪れる。

クラチットの家では、粗末な服の奥さんと子供たちが料理に奮闘中。クラチットが足の悪い末っ子を肩に乗せて来てテーブルにつき、焼き上がった七面鳥ならぬ、ガチョウにナイフが入れられる時には、家中が拍手喝采。そして、クリスマス・スイーツのブディング。家中で食べるにはあまりにも小さすぎる!



文と写真= 写真家・石黒健治 http://ishigurokenji.com

それは恐ろしいものだった。自分の葬儀には誰も来ない。むしろ強欲な人間がいなくなつて、皆せいせいしているのだ。

*第3の幽霊ー未来

世界の主要国の貧困率に関する最近の調査によると、日本はメキシコ、トルコ、アメリカに次いで第4位。一人親の場合は、ダントツの第1位である(2位アメリカ、3位メキシコ)。

スクルージは、甥一家のディナーに笑顔で出席し、クラチットには町で一番大きな七面鳥を届け、給料を3倍にする。

スクルージの生き方は変わった。分かち合うことの素晴らしさに気付いたのだ。

*日本人はスクルージか

スクルージは、甥一家のディナーに笑顔で出席し、クラチットには町で一番大きな七面鳥を届け、給料を3倍にする。

*分かち合うこと

スクルージは、甥一家のディナーに笑顔で出席し、クラチットには町で一番大きな七面鳥を届け、給料を3倍にする。

金目の物品が持ち去られて、身ぐるみ剥がされるおぞましき。あまりにも哀れな自分の未来を見せられ、スクルージは幽霊にしがみついて、「心を入れ替えます」と約束する。

ポケット

東京最古の公衆浴場



家湯があるのに銭湯に行く機会が増えた。その解放感や個々の店の特徴が垣間見れ、別の癒しを求める者も多い。東京都浴場組合によると、都内には706軒の銭湯が存在する。なかでも、大田区の49軒が最も多く、次いで江戸川の48軒、葛飾の43軒、板橋の40軒と続く。



まちかど写真家 筑峯 総太

昭和43年には、2687軒あった銭湯も年々減少の一途を辿つてはいるが、都内で銭湯のない区は存在しない。その銭湯もスタイルを変え、懐かしい日本建築の正しい佇まいのそれは、その姿を消しつつある。老朽化やプライバシー保護から番台が消え、小奇麗なカウンター形式の銭湯に改装され、ボイラー化により、シンボライズされた煙突も姿を消している。

銀座にも2軒の銭湯があり、8丁目「金春湯(こんぼるゆ)」という都内最古の銭湯がある。1863(文久3)年の開業で、昭和32年に改装し、ビルの中に位置している。幕府直下の能役者として、金春 観世、宝生、金剛の4家が能を演じていた。金春家は室町時代から栄えた4座のうち最も古く、銀座8丁目6、7、8番を占め、芸者屋敷の名を今に残している。

湯のない区は存在しない。その銭湯もスタイルを変え、懐かしい日本建築の正しい佇まいのそれは、その姿を消しつつある。老朽化やプライバシー保護から番台が消え、小奇麗なカウンター形式の銭湯に改装され、ボイラー化により、シンボライズされた煙突も姿を消している。

三丁目

年末はなにかと忙しくなる。政府の平成28年度予算案編成に関連して、税制改正問題がひととき慌ただしく伝え聞かされてくる。本紙発行の頃は、決着がついているはずだが、しかし、29年4月にスタートする消費税10%の軽減税率問題は、しばらく尾を引きそうだ。消費税は、平成元年に3%でスタートし、以来9年に5%、14年に8%と順次上がってきた。10%は、いわば本則であるが、影響の大ききから、先延ばしにされたものである。その消費税について、ジャーナリストの清水真人氏が、新潮文庫で「政と官との十年戦争」と題するドキュメンタリーを上梓した。12月1日の出版である。消費税をめぐる政官の争点を鮮やかに描いている。中央大学の宮本太郎教授は、その「解説」で「本書が映し出した、消費税をめぐる政治家と官僚たちの連携と対抗の生々しさに息を呑む」と伝えていくように、第1章の小泉純一郎から始まり、福田 麻生、与謝野 蒼、野田、谷垣という関係した政治家の動向、官僚の対応が描かれていく。◆むろん、安倍首相は序章で、一読あれ。